

令和7年度申請事業実績一覧

	申請団体	申請事業名	申請額	交付決定額	決算額	概要	事業成果
地域活力推進	一般社団法人 オープンセサミ・アライブ	サギマダラ飛来・鑑賞プロジェクト	640,000	640,000	640,000	白川地区でアサギマダラ飛来の定着を目指す事業	飛来地の環境整備をはじめ、コンテナハウス、トイレ、駐車場など来場者に向けての環境整備も実施できた。アサギマダラの好むフジバカマの植栽に注力したが、令和7年は異常気象の影響でフジバカマの開花状況があまり良くなく、それに伴いアサギマダラも最盛期であった令和5年の1/3程度にとどまり、飛来頭数としての成果は得られなかった。よって、最盛期の9月～10月にかけて、1000人ほどの来場者数を想定していたが、来場者数も700人ほどとなった。引き続き園内の整備に努め、アサギマダラの飛来定着を進めていく。
地域活動継承	吉田一区	鎮火祭	271,000	271,000	271,000	吉田一区伝統行事「鎮火祭」の実施	高齢者世帯へは個別訪問に近い形で祭りの情報を共有した結果、参加人数は前年比の約20%増となる、360名となった。仁○伽の稽古や造り物の制作過程において、ベテランから若手への技術伝授が行われ、地域住民の一体感が増加した。子どもたちにとっては地元愛を育むこと、大人にとっては地域の絆を再確認できる機会となった。
地域活動継承	両併青壮年部	両併夏祭り	300,000	300,000	300,000	両併地域で30年続く夏祭り	来場者数は約1000名で村外からも多く来場された。地元小学生、中学生もまつりのステージ踊り等で参加し地域全体でまつりを作ることができた。また、このまつりを通じて新規に青壮年部に加入した若者もおろ若手育成にもつながっている。令和7年度は白水小学校の保護者とも連携を図り、新しく移住されている住民との交流の場にもなった。
地域活力推進	白川地区活性化事業 実行委員会	白川地区活性化事業	800,000	800,000	800,000	白川地区で子どもを中心に地域の交流を図る取り組み	子どもを含めた地域交流を図るために子ども神輿を導入し、お披露目イベントを実施した。イベントをきっかけに帰省した子どももおろ、約30人の子どもが参加した。また、会場が白川水源であったため、水源を訪れた観光客も見物していた。次年度の夏祭りでの本格始動を予定している。例年稼働している大人神輿と併せて2台体制となることで、親子・住民同士で顔を合わせることで、区内の団結の強化と文化の継承に繋がることを想定している。
			2,011,000	2,011,000	2,011,000		